

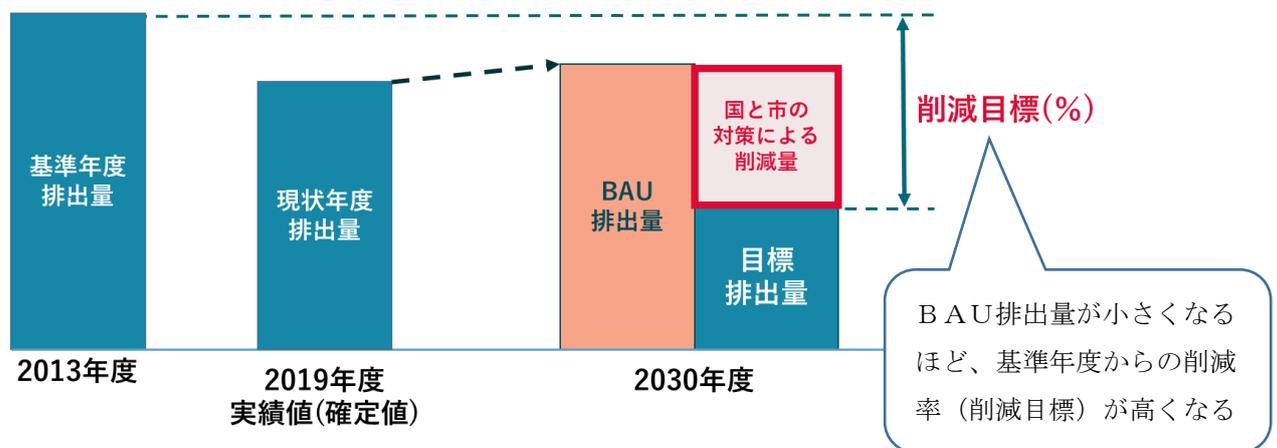
本市温室効果ガスの将来推計（現状すう勢ケース）の更新に伴う 削減目標の変動について

1. 温室効果ガスの将来推計（現状すう勢ケース）について

本市は削減目標の算定にあたり、温室効果ガス排出量の将来推計（現状すう勢ケース：BAU）の推計結果を利用している。

○ 現状すう勢ケース（BAU:Business As Usual）とは
今後、削減対策を行わない場合の将来の温室効果ガス排出量であり、
現状年度の排出量を元に、将来の人口や製造品出荷額の予測等の指標から算定

○ 現状すう勢ケース（BAU排出量）と削減目標の関係



2. 本市のBAUの算定について

本市のBAU排出量の推計は、2019年度の排出量を元に、既存の施策を含めた削減対策を一切行わない場合の2030年度の排出量として算定している。

本市の温室効果ガス排出量の推計に使用している国の統計（都道府県別エネルギー統計等）の数値が更新されたことに伴い、本市の2019年度排出量の実績値とBAU排出量の推計値を更新した結果、2030年度のBAU排出量が8万t-CO₂減少した。

[万 t-CO₂]

	国統計更新前	国統計更新後
2019年度排出量(実績)	766	758
2030年度BAU排出量	774	766

2030年度BAU排出量が
8万t-CO₂減少

3. BAU排出量の更新による2030年度削減目標(%)の変動について

BAU排出量が減少した結果、2030年度の基準年度からの削減率が高くなり、第2回検討部会で示した、試算①・②を踏まえた基準年度からの削減率（削減目標）が上昇することとなった。

	BAU更新前	BAU更新後
基準年度比削減率（試算①）	53.1%	<u>53.7%</u>
基準年度比削減率（試算②）	54.3%	<u>54.8%</u>